

# 小中学校にみる<子どもの問題>状況とスクールソーシャルワークに対する期待 —東京都小平・国分寺・小金井3市におけるニーズ調査を手がかりに—

○加瀬進 野口裕二 高良麻子 朝倉隆司 直井道子

(東京学芸大学)

Key Words (スクールソーシャルワーク、ニーズ調査、地域連携重点市)

## 1. 問題の所在と目的

本研究では、スクールソーシャルワーク(以下、SSWと略記)に対する社会的要請の高まり、モデル事業等の推進状況を踏まえ、20年来社会福祉士養成にも取り組んできた教員養成大学として、東京学芸大学がSSWに関して果たすべき役割を検討するため、地域連携重点市の小中学校における<子どもの問題>状況と教員のSSWに対する期待等を明らかにすることを目的とした。

## 2. 方法

2008年2月に東京都小金井市、小平市、国分寺市の市立小学校、市立中学校の普通学級の担任847名にアンケート調査を依頼し、小学校395名、中学校190名、計590名から回答を得た。回収率は69.7%(小学校65.4%、中学校80.4%)であった。先行研究(高良2008)等を踏まえ、主たる調査項目は回答者の基本情報、現在問題を抱えている児童生徒の状況、ここ数年で最も対応が困難と感じた児童生徒(以下、最困難事例と表記)1名の状況と対応、スクールソーシャルワークに対する認知度・期待、とした。

## 3. 結果

### (1)問題を抱えている児童生徒の在籍状況

小学校担任の82.8%、中学校担任の95.3%が、問題を抱えた生徒がいると答え、平均して、小学校ではクラスに一人、中学校ではクラスに二人いることがわかる。問題の種類では、小学校では、「学習の遅れ・困難」が78.6%で最も多く、中学校では「不登校」が67.6%で最も多い。この問題の種類については、最困難事例でも同様の傾向が見られ、小学校で「学習の遅れ・困難」が、中学校では「不登校」が首位を占めたものの、現在の状況に比べて平準化傾向が見られた(図1)。

問題の背景では、小学校では「本人の障害」(56.4%)、「本人の対人関係能力の不足」(50.3%)が多く、中学校では、「本人の対人関係能力の不足」(56.3%)、「保護者の養育力不足」(50.3%)が多い(図2)。

対応上困難だったことは、小学校、中学校とも、「児童生徒との関係が作りにくかったこと」、「保護者の協力が得られなかったこと」が多く、いずれも40%を超えている(図3)。

なお、問題解決の状況では、小学校で22.9%、中学校で42.4%が「問題が解決していない」と答えている。

### (2)スクールソーシャルワークに対する認知度と期待

小学校・中学校あわせてみると、全体の58.2%が、スクールソーシャルワークという言葉を知っており(図4)、36.8%が、スクールソーシャルワークは「おおいに役立つと思う」と答え、56.1%が「多少は役立つと思う」と答えている(図5)。

また、スクールソーシャルワークに最も期待することとしては、小学校、中学校とも「家族への対応・支援」が最も多く、小学校で46.0%、中学校で52.8%であった。

## 4. 考察と今後の課題

全体で約90%の教師が現在担任のクラスに問題を抱えている児童生徒がいるとし、最困難事例における問題の背景として、本人の要因のみならず、保護者の養育力不足や家族関係不和等が指摘されている。SSWへの期待とあわせ、そのニーズが高いことが本研究でも把握された。

教員養成大学である本学としては、小中学校教員養成及び現職教育プログラムにSSWや家族支援・貧困問題の基礎理解をいかにして加味していくか、教員養成大学の特色を生かしたSSW養成の工夫と成果が問われるに違いない。今後は地域連携重点市との協働体制を構築しつつ、発達相談・教育相談に関する支援実績・支援体制を踏まえ、総合的な<子どもの問題>解決支援に資するモデル開発を進めていく必要があると考える。

高良麻子(2008)児童虐待におけるスクールソーシャルワーカーの役割に関する一考察—児童相談所と小学校の連携に注目して—, 学校ソーシャルワーク研究, 第3号, 2-13.

(Susumu Kase, Yuji Noguchi, Asako Koura,  
Ryuji Asakura, Michiko

図1: 児童生徒の問題の種類

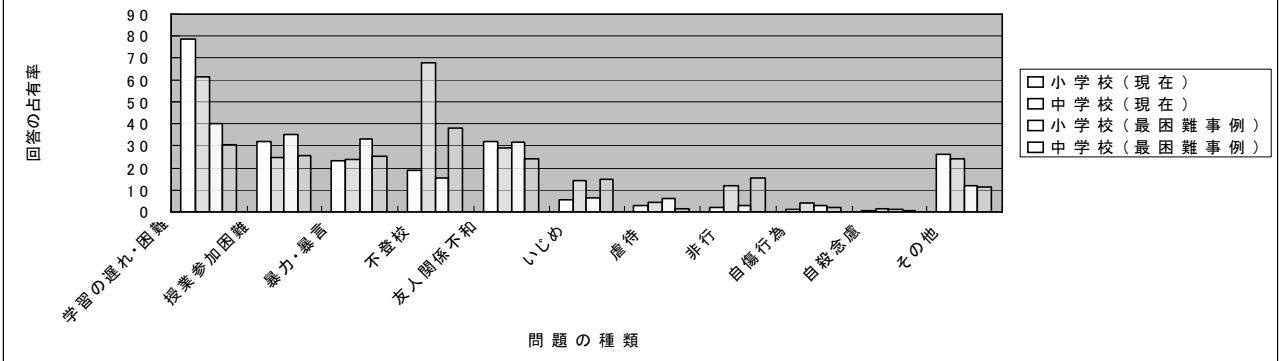


図2: 児童生徒の問題の背景

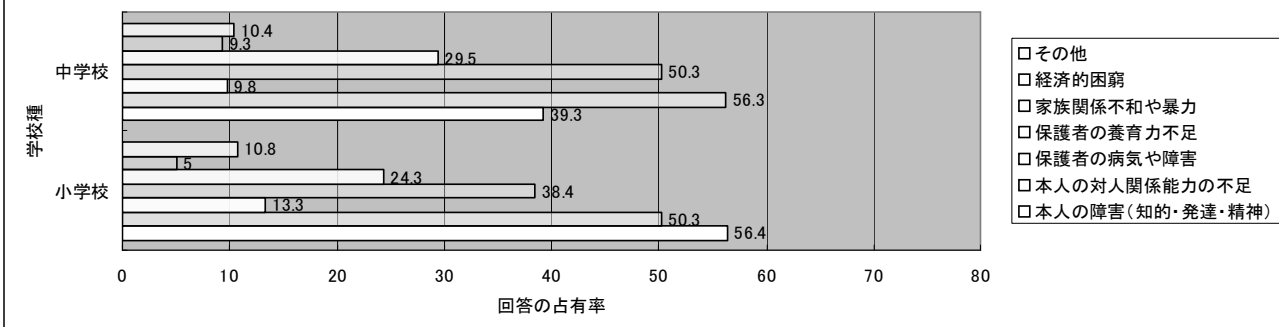


図3: 対応上もっとも困難だったこと

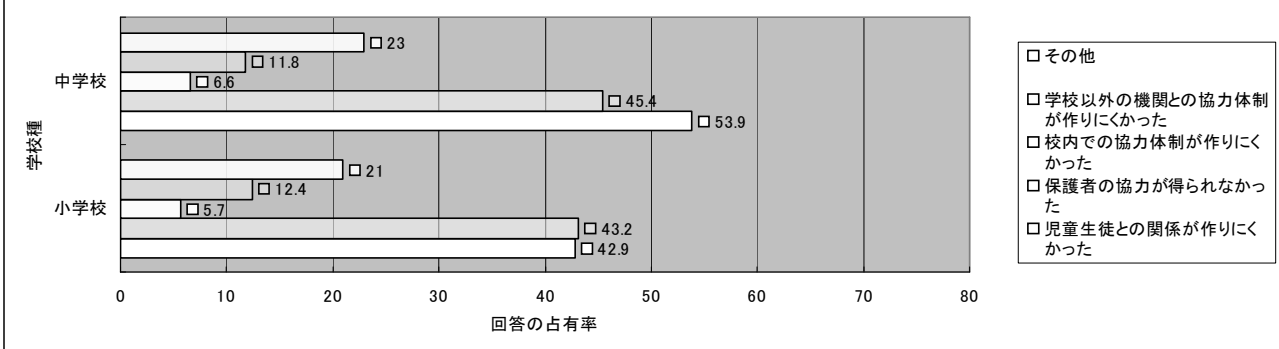


図4: SSWを知っているか

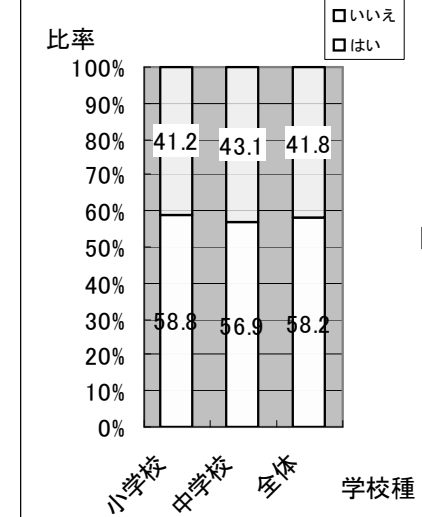


図5: SSWは役立つと思うか

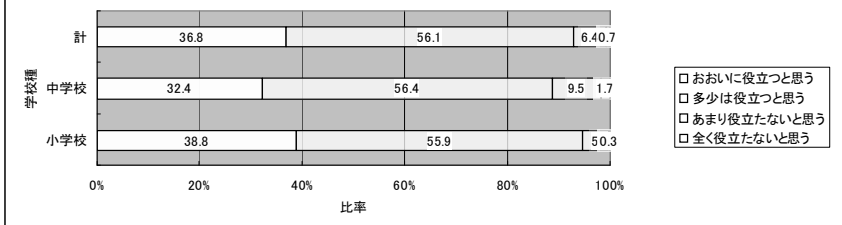


図6: SSWに最も期待すること

